

2018年(平成30年)4月7日(土曜日)

## 三島駅南口 東街区再開発



JR三島駅南口東街区の再開発事業のイメージ図。高さ99.5mのホテル、マンションが入居する高層ビルや商業施設などを整備する

# 市長「にぎわい生まれる」

### 事業協力者「ミサワ」代表のJVに

三島市のJR三島駅南口東街区の再開発事業で、市は六日、ミサワホームが代表の共同企業体(JV)を事業協力者に選んだと発表した。JVは高さ九九・五mのホテルとマンションが入居する建物など四棟を整備

する提案をした。二十余年にわたって塩漬け状態となっていた東街区の再開発が動き出すことになった。東街区は駐車場の市有地と民有地一・三畝。JVはミサワホームのほか、東レ建設、野村不動産などで構



成する。

最も高い北棟は二十四階建て高さ九九・五mで、ホテル百室、マンション百九十四戸が入る。南棟は十三階建てで商業施設とマンション八十八戸を備え、西棟は四階建ての商業施設、東棟は商業用とマンション住民用の七階建て駐車場で六百二十六台を収容する。

商業施設には、医療機関、スポーツジム、食料品販売店、サイクルステーションなどが入る。ホテルの事業者や内容は未定。公募には五業者が参加。

ミサワホームが代表のJVが学識経験者らでつくる審査会で最高点を獲得した。市が掲げる健康医療拠点に合致した多様な機能が盛り込まれ、地下水やわき水に配慮した工法を採用している点が高く評価された。二〇二一年十月に着工し、二〇二五年一月ごろ完成予定。総事業費は二百二十億円。事業協力者は市と準備組合との協議を経て、五月に協定を結び正式決定する。

豊岡武士市長は「にぎわいと活力が生まれ、市の持続的発展につながる」と期待。川勝平太知事が見直し、延期を求める発言をしていたことには「十分理解してもらえよう努めた」と述べた。

(佐久間博康)